環　境　活　動　レ　ポ　ー　ト

２０１２年版

作成：　環境管理責任者　　長崎　紀夫

確認：　環境委員会事務局　　長矢　好幸

この活動レポートは２０１１年１０月から２０１２年
９月までを対象とする。

発行日　　２０１２年１０月１１日

㈲キョーシン精工

〒３９９－４３０１　　本社　　長野県上伊那郡宮田村１９９７
[電話]0265(85)5115
[FAX]0265(85)5118
第２工場　長野県上伊那郡宮田村大田切

[電話]0265(85)3582
[FAX]0265(85)3646

目　次

Ⅰ　事業活動の概要　P－1
(1)　環境負荷の状況
(2)　環境活動への取組状況

Ⅱ　環境方針　P－3

Ⅲ　環境目標と実績　P－4
(1)　環境目標の設定
(2)　実績

Ⅳ　主要な環境活動計画の内容　P－5
(1)　環境方針、環境活動計画の発表
(2)　部門別活動計画の策定
(3)　環境活動の内容

Ⅴ　環境活動の取組み結果の評価　P－10
(1)　電力使用量
(2)　埋立処分量
(3)　水使用量
(4)　マネジメントレビュー
(5)　代表者による全体の評価と見直し
(6)　今後の活動の取組み

Ⅵ　環境関連法規への違反、訴訟等の有無　P－13
(1)　適用される主な環境関連法規と遵守評価
(2)　違反、苦情、訴訟等について

別表　１、　P－1/１５

Ⅰ　事業活動の概要

事業所名

有限会社キョーシン精工

代表取締役社長

長崎　紀夫

所在地

本社　　；長野県上伊那郡宮田村１９９７

第２工場　；長野県上伊那郡宮田村大田切

環境管理責任者

長崎　紀夫

環境問題関連担当者

長矢　好幸

連絡先

ＴＥＬ　０２６５－８５－５１１５

ＦＡＸ　０２６５－８５－５１１８

事業内容（認証、登録の範囲）

本社工場　　モールド金型の製造、販売並びに自動車用マップランプの製造

第２工場　　プレス製品及び樹脂成形品の製造、販売

事業の規模

（ｉ）資本金　　１０００万円

社員数　　20 名

派遣社員　　3 名

設立　　１９８３年３月１日

敷地面積

本社工場　　２１９２　㎡

第２工場　　１４０４　㎡

（ⅱ）

	単位	2010 年度	2011 年度	2012 年度
売上総計	百万円	439	328	335
取扱い量	t	136	106	117
材料投入量	t	138	108	121

（１）環境負荷の状況

当社の温室効果ガス排出量、廃棄物等総排出量、水資源投入量の実績は以下のとおりです。

２０１２年１０月　集計

		２０１０年度（２８期）	２０１１年度（２９期）	２０１２年度（３０期）
温室効果ガス排出量	総量(Kg/年)	２９４，３９５	２８０，６４５	２９６，６９８
廃棄物等総排出量	総量(Kg/年)	４，８３０	４，７４０	４，９８０
水資源投入量	総量(㎥/年)	１６，９２０	１６，４６４	１７，０４０

（２）２０１２年度の環境への取組のチェック

当社の２０１２年度環境活動への取組み状況は以下のとおりでした。

２０１２年１０月　集計

分類項目	取組み施策	評価点	満点	実施率
事業活動へのインプットに関する項目	省エネルギー、	９２	１０４	８８％
	省資源、	３４	３４	１００％
	水の効率的利用及び日常的節水	３８	３６	１０５％
	小計	１６４	１７４	９４％
事業活動へのアウトプットに関する項目	温室効果ガスの排出抑制、大気汚染の防止	６	１２	５０％
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	４８	４８	１００％
	排水処理	２５	２２	１１４％
	その他生活環境に係る保全の取組等	６	６	１００％
	小計	８５	８８	９７％
製品及びサービスに関する項目	グリーン購入	２０	２２	９１％
	製品及びサービスにおける環境配慮	４９	４８	１０２％
	小計	６９	７０	９８％
その他	環境コミュニケーション及び社会貢献	２８	２８	１００％
	小計			１００％
	合計	３４６	３６０	９６％

環境への取り組みの自己チェックの推移（別表）

取り組みの実施率の推移は以下のとうりです

2010 年 6 月　集計　　８８％

2011 年 6 月　集計　　９６％

2012 年 10 月　集計　　９６％

Ⅱ　環境方針

環境理念

㈲キョーシン精工は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つである事を認識し、環境保全と継続的な改善に努め、人に優しい工場環境の実現を目指して行動します

環境方針

当社は、自社の事業活動が精密金型の製造販売、並びにそれらを用いたプレス製品及びモールド成形品、モールド組立品の製造であることを踏まえて、ＥＭＳの定められた適用範囲の中で以下の環境活動を行う

１．電力・燃料の消費による二酸化炭素排出量の削減に努めます。

２．資源・エネルギーの節減に努めます。

３．不良による資源の消費量、廃棄物量を削減する

４．分別・リサイクルによる廃棄物の減量化に努めます。

５．節水による水資源の利用削減に努めます。

６．環境側面に関する法令及び当社が同意した
その他の要求事項を遵守します。

７．ＥＭＳの継続的な改善と事業活動による環境汚染の
予防に努めます。

８．環境に配慮した製品またはサービスを提供します。

平成 23 年 10 月 1 日
(有)キョーシン精工
代表取締役社長　　長崎　紀夫

Ⅲ　環境目標とその実績

(1)　環境目標の設定

環境目標は 2011 年 9 月に見直しを行い、2010 年 10 月から 2011 年 9 月迄の数値を基準に 4 半期毎に削減目標を決め以下のように設定しました。

		中、長期目標	単年度目標
目標項目	基準年	2013 年迄の目標値	2012 年目標値
電力使用量の削減	2011 年	基準年比 2%削減	基準年比 2%削減
廃棄物の削減	2011 年	基準年比 2%削減	基準年比 5%削減
水使用量の削減	2011 年	基準年比 2%削減	基準年比 5%削減
コピー用紙の削減	2011 年	基準年比 2%削減	基準年比 4%削減
金型トライ回数の削減	2011 年	トライ回数 1 回	トライ回数 2 回以下
製品生産の納期遵守	2011 年	納期遅延　「0」	納期遅延「0」

(2)　結果については次のとおりです

（電力使用量、埋立処分量については生産額 100 万円あたりの数値を示しています。）

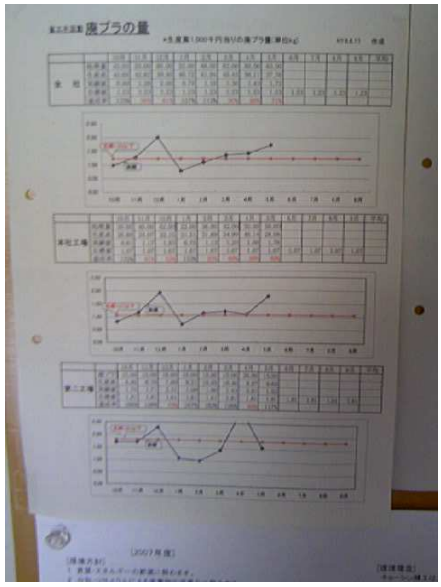
（目標値の設定は前年度同月の電力量 kwh/100 万円、廃棄物 kg/100 万円に削減目標を乗じた値です）

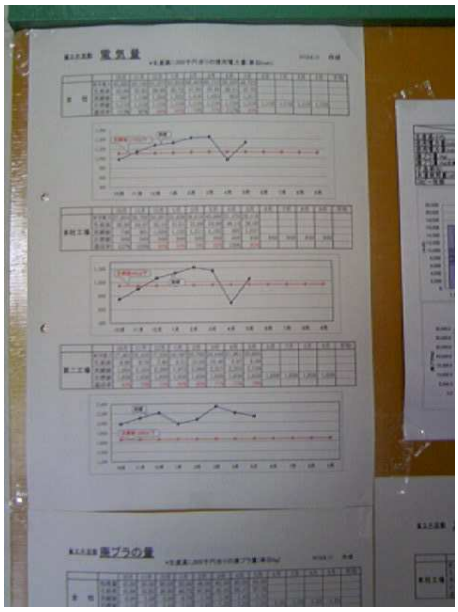
取組項目	本年目標		11 年 10 月	11 月	12 月	12 年 1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
省エネ	2011 年比 2%削減	目標値	1,626	1,626	1,626	1,665	1,665	1,665	1,713	1,713	1,713	1,531	1,531	1,531
電力使用量の削減		実績値	1,459	1,433	1,775	2,010	1,872	1,907	1,656	1,337	1,678	1,941	1,909	1,491
	(KwH/100 万円)	達成率	111%	113%	92%	83%	89%	87%	103%	128%	102%	79%	80%	103%
廃棄物削減	2011 年比 5%削減	目標値	1.06	1.06	1.06	1.06	1.06	1.06	1.06	1.06	1.06	1.06	1.06	1.06
埋立処分量の削減		実績値	1.27	1.01	1.73	1.87	0.75	0.40	0.94	0.76	0.95	1.53	1.07	1.10
	(Kg/100 万円)	達成率	83%	105%	61%	57%	141%	262%	113%	139%	111%	69%	104%	99%
省資源	2011 年比 5%削減	目標値	2.62	2.62	2.62	2.62	2.62	2.62	2.62	2.62	2.62	2.62	2.62	2.62
水道使用量の削減		実績値	1.58	1.69	2.74	7.07	6.99	3.73	3.47	6.10	6.89	8.19	8.31	4.81
	(単位 m3)	達成率	166%	156%	96%	37%	37%	70%	76%	43%	38%	32%	32%	54%
コピー枚数の削減	2011 年比 4%削減	目標値	4,398	4,398	4,398	4,398	4,398	4,398	4,398	4,398	4,398	4,398	4,398	4,398
		実績値	4,301	4,898	4,102	4,307	3,786	4,388	4,460	3,851	4,197	4,179	3,898	4,345
	単位枚数	達成率	102%	90%	107%	102%	116%	100%	99%	114%	105%	105%	113%	101%
金型トライ	2 回以下	実績値	1.5 回	1.8 回	1.5 回	1.7 回	2 回	1.8 回	1.3 回	1.5 回	2.2 回	2 回	1.5 回	2 回
回数削減	1 型平均	達成率	133%	111%	133%	117%	100%	111%	154%	133%	91%	100%	133%	100%
製品納期	0 回	実績値	0 回	0 回	0 回	0 回	0 回	0 回	0 回	0 回	0 回	0 回	0 回	0 回
遅延削減	月　回数	達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

Ⅳ　主要な環境活動の内容

（１）環境方針、環境活動計画、
異常事態対応に対する意識向上のため、
各工場に環境掲示板を設置
しています。

掲示板には活動計画表の内容
廃プラの量、使用電力量
水資源使用量、コピー使用量
等についてグラフ化した推移
を掲示して意識の向上を
図りました





（２）上記、環境目標に対する具体的な部門別環境活動計画書を、新たに部門毎（第１製造（金型）、総務経理、第２製造１課、2 課）　策定し、計画にもとづいて活動に入りました。（２０１１年９月３０日）

環境活動計画書は別表にて添付します。

（３）活動内容

①電力使用量の削減（2011 年度比 2%削減）

ｉ）エアコンの温度管理の徹底（暖房　22 度 冷房　28 度）。

節電シールを貼付し徹定化をはかりました

ⅱ）エアコン使用時、ドアの開放厳禁。　（全部門）

ⅲ）休憩時、終業時の消灯の徹底。　（全部門）

節電シールを貼付し意識付けを行いました

ⅳ）パソコン等、不使用時、休日は電源をきる。　（全部門）

ｖ）成形トライ時、タイマー使用等、無駄な電力を使用しない計画的実行。　（金型部門）

トライを予約制にして予約表に記入することにより計画的な実施をはかりました。

節電シール

節電シール

②埋立処分量の削減（2011 年度比 5%削減）

ｉ）ISO9001-2000 の計画に依る重点工程不良低減（50%）。（全部門）

ⅱ）樹脂材質の分別によるリサイクル化の徹底。　（全部門）

分別と 1 部ランナーの粉砕により引き取り価格ＵＰを実施しました。

（金額メリット 26 期比約 10%ＵＰ）　第２製造部２課

ⅲ）トライ回数の削減（Ｔ０良品化）　（金型部門）

ⅳ）鋼材、非鉄類のリサイクル　（金型部門）

（重量　28 期比　10%ＵＰ）

ｖ）古紙、雑誌、ダンボールのリサイクル化。　（全部門）

古紙雑誌リサイクル籠

樹脂分別用ケース

③省資源化（2011 年度比 5%削減）（成形材料の歩留り改善、消耗品使用量の削減）

ｉ）成形不良率を調査し削減する。段取りの効率化をはかる。

ⅱ）提出書類、記録類、図面以外は使用済紙の裏面使用。

ⅲ）不要なコピーを行わない。プリンター利用　（全部門）

ⅳ）切削工具のリサイクル化　（金型部門）

ｖ）節水対策として

手洗い場の流水量の調節

トイレタンクの流水量の調節　（全部門）

成形機冷却水の循環使用

④油、廃油類の社内管理の徹底と緊急時の対応

ｉ）不要な油類と使用する油類の整理、責任者の明示確認

ⅱ）保管場所に非常事態用のウエス、オイルシートの設置確認

ⅲ）コンプレッサードレン水処理装置の設置と効果確認

ⅳ）27 期 6 月から③項の内容ですが、ワイヤのリサイクルを開始

ｖ）緊急時の対応手順を確認し、対応訓練を実施しました。

ｉ）　廃油、油類の管理

廃油保管場所

油類保管場所

ⅱ）切削油の処理とオイルシート等の管理

切削屑油抜タンク

オイルシート、吸着材

ⅲ）ドレン水の分離装置

コンプレッサードレン水の処理装置を設置して５年経過規準数値内での処理が継続できています。

ⅳ）　ワイヤ線のリサイクル化

ワイヤ加工機にリサイクルボックスを設置、６４Ｋｇの使用済線をリサイクルにより２０Ｋｇの新線と交換できることになりました

ｖ）　緊急時対応訓練の実施

実施日　　2012 年　9 月　3 日

参加人数　　18 名

火災発生を想定して避難訓練、消火器使用訓練を実施

油漏洩対応手順書に基づいて、緊急時訓練を実施。

（消火器使用訓練）　　（油漏洩対応訓練）

訓練結果の考察

緊急事態対応手順書に基づいて、火災時を想定した訓練を行った。

火災訓練として,実際に消火器を使用した消火訓練を行ない使用方法について学習した

避難経路の確認、環境影響に対する処置、とともに近年の課題である地震災害

に対する対応説明など、想定できる災害に対して危機感を共有できる訓練であった。

又、油漏洩時の対応訓練として、油の保管場所にて発生させないための注意事項、

発生時の対応方法等の訓練を行った

V　環境活動の取組み結果の評価

環境管理委員会は前記、取り組み結果により以下の評価を行いました。

（1）電力使用量の削減

活動期間	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	年平均
達成率	111%	113%	92%	83%	89%	87%	103%	128%	102%	79%	80%	103%	97%
評価	○	○	△	△	△	△	○	○	△	△	△	○	△

結果の考察

11 年 10 月から 11 年 12 月まで比較的に良好な状態で推移したが、
1 月から 3 月は、例年のように寒冷期と売上げ減少（85%）が重なり
効率の悪化により達成率が下がってしまった。4 月以降徐々に業績が
回復しており、金型部門の不安定はあるものの効率的な活動をしたい。

（2）埋立処分量の削減

活動期間	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	年平均
達成率	83%	105%	61%	57%	141%	262%	113%	139%	111%	69%	104%	99%	96%
評価	△	○	△	△	○	○	○	○	○	△	○	△	△

結果の考察

11 年度比５%削減の目標を設定したが、平均達成率 96%とほぼ良好な推移
を辿っている、更にスクリュウ洗浄、成形条件の見直し、周辺環境の
見直しにより不良率の低減（0.1% 目標）を目指したい。
尚、リサイクル部分を増やすための対策も実施しており、資源の有効利用
の点からも更なる改善活動を期待する。

（3）水道使用量の削減

活動期間	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	年平均
達成率	166%	156%	96%	37%	37%	70%	76%	43%	38%	32%	32%	54%	56%
評価	○	○	△	×	×	△	△	×	×	×	×	×	×

結果の考察

11 年度 10 月から 11 年 12 月までの 3 ヶ月間使用量目標は
クリアーしたが 1 月以降クーリングタワーの故障のため
多量の水を使用したため使用量目標未達成という結果になってしまった。
3 月に一旦修理したが十分ではなく、期末まで未達成が続いてしまった
今後はクーリングタワーの新設も含めて、削減案を検討し達成率を
向上させたい。

（４）　マネージメントレビュー

環境委員会において環境活動の結果の評価から
以下のマネージメントレビュウを行いました

(4-1) 環境経営システムの有効性及び法的遵守
システムの有効性は有りと判断する、　法的遵守状況は違反なし

(4-2) 環境への取り組みの実施評価
今期も引き続き環境改善の取り組みを継続していきたい。

評価内容	11 年 10 月～12 月	12 年 1 月～3 月	4 月～6 月	7 月～9 月
電気使用量の削減	良好(平均 105%)	是正(平均 86%)	良好(平均 111%)	是正（88%）
廃棄物の削減	是正（平均 83%）	良好（平均 153%）	良好（平均 121%）	良好（平均 91%）
水使用量の削減	良好（平均 139%）	是正（平均 48%）	是正(平均 52%)	是正（平均 39%）

(4-3) 環境方針、環境活動計画は変更の必要はなしと判断する、
環境目標の廃棄物削減の内容について目標値を変更した結果(5%減)良好

（５)代表者による全体の評価、見直し
30 期に入って売上高平均は昨年比　105%、改善の兆しが見られます
金型部門の売上昨年比　82%、第 2 製造部は昨年比　118%　であり
金型部門の受注の不安定が課題になっています、今後の経営改善に
向けて徹底した要因分析、実施計画の立案、計画の実施に向けて
踏み出さなければなりません
利益確保、資源の有効利用のためにも、昨季以上に
『営業活動の活性化』『工程不良の削減』、『生産性の向上』を
全体テーマとして活動し、ひいては環境負荷の低減を図りたいと思います。

(5-1)　環境効率　（前年比）

ⅰ）総エネルギー投入量	１０５．３％
ⅱ）総物質投入量	１１２．０％
ⅲ）水資源投入量	１８２．７％
ⅳ）温室効果ガス排出量	１０５．７％
ⅴ）総製品生産量	１１０．４％
ⅵ）廃棄物等総排出量	１０５．０％
ⅶ）総排水量	１０３．５％
ⅷ）OUTPUT/INPUT（割合）	９８．０％

（６）今後の活動の取り組み

ｉ）二酸化炭素排出量の削減対策

経営環境の回復傾向が見えない中ではあるが
太陽光発電など、自然エネルギー利用も順次計画したい
また、断熱塗料という新しい技術を積極的に取り入れたい
灯油、燃料の使用量削減の具体的目標値設定と計画を行う
廃棄物の削減に向け、不良低減と、
より一層の分別化とリサイクル化を推進します。

ⅱ）省資源化

成形材料の削減のための具体的対策を立て
工程不良、品質不良に依る資源のムダの削減に努めます。
資材その他の使用量削減とリサイクル化の目標計画を立案し
実施します。
水資源使用量の削減について、再度目標計画を立案し
活動します。

ⅲ）周辺地域への活動の拡大

村内のエコアクション２１認証活動の活発化に伴い
同時に周辺地域へ環境活動の輪を広げることによって
社内活動の周知と、連帯を図っていきたいと考えます。

以上を更に活動目標として加えると共に、ISO9001 マネージメントシスム
と連動したシステムとして、環境保全と継続的な改善に
積極的に邁進します。

Ⅵ　環境関連法規への違反、訴訟等の有無

(1) 適用される主な環境関連法規と遵守評価

２０１２年９月２０日実施

区分	関連法規	影響項目	実施事項	遵守評価
水質	水質汚濁防止法 浄化槽管理法	浄化槽 コンプレッサー	･浄化槽設置届出 ･水質検査 ･ドレン水処理	○
騒音	騒音振動規制法	コンプレッサー	騒音の測定と記録	○
廃棄物	廃棄物処理法	金属屑 廃油 廃プラ	･保管場所の整備 ･委託契約の締結 ･産廃管理表の管理 ･マニフェスト交付状況を 6 月 30 日までに県へ報告	○
	フロン回収破壊法	業務用エアコン	回収文書、契約書の保管	
化学物質	消防法	灯油	･灯油タンクの管理 ･少量危険物の管理	○
その他の要求事項	顧客要求 （グリーン調達規定） EA21 審査登録	環境負荷物質	･メーカーエビデンス取得 ･環境レポート公開	○

（２）違反、苦情、訴訟等について

平成２４年９月現在において関連法規への違反及び苦情、問合わせ、訴訟は１件もありませんでした。
尚、関係当局よりの違反等の指摘は、過去 3 年間ありません。
また、（１）により環境関連法規について自ら遵守評価する事によって遵守状況を確認しております。

環境活動への取り組みの自己チェック評価の推移

2010年6月　集計

分類項目	取組み施策	評価点	満点	実施率
事業活動へのインプットに関する項目	省エネルギー、	88	100	88%
	省資源、	32	32	100%
	水の効率的利用及び日常的節水	34	40	85%
	小計	154	172	90%
事業活動へのアウトプットに関する項目	温室効果ガスの排出抑制、大気汚染の防止	6	12	50%
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	36	46	78%
	排水処理	20	22	91%
	その他生活環境に係る保全の取組等	3	6	50%
	小計	65	86	76%
製品及びサービスに関する項目	グリーン購入	18	18	100%
	製品及びサービスにおける環境配慮	26	28	93%
	小計	44	46	96%
その他	環境コミュニケーション及び社会貢献	28	28	100%
	小計			
	合計	291	332	88%

2011年9月　集計

分類項目	取組み施策	評価点	満点	実施率
事業活動へのインプットに関する項目	省エネルギー、	92	104	88%
	省資源、	34	34	100%
	水の効率的利用及び日常的節水	38	36	95%
	小計	164	174	92%
事業活動へのアウトプットに関する項目	温室効果ガスの排出抑制、大気汚染の防止	6	12	50%
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	48	48	100%
	排水処理	25	22	119%
	その他生活環境に係る保全の取組等	6	6	100%
	小計	85	88	97%
製品及びサービスに関する項目	グリーン購入	20	22	91%
	製品及びサービスにおける環境配慮	49	48	114%
	小計	69	70	96%
その他	環境コミュニケーション及び社会貢献	28	28	121%
	小計			
	合計	346	360	96%

2012年9月　集計

分類項目	取組み施策	評価点	満点	実施率
事業活動へのインプットに関する項目	省エネルギー、	92	104	88%
	省資源、	34	34	100%
	水の効率的利用及び日常的節水	38	36	95%
	小計	164	174	92%
事業活動へのアウトプットに関する項目	温室効果ガスの排出抑制、大気汚染の防止	6	12	50%
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	48	48	100%
	排水処理	25	22	119%
	その他生活環境に係る保全の取組等	6	6	100%
	小計	85	88	97%
製品及びサービスに関する項目	グリーン購入	20	22	91%
	製品及びサービスにおける環境配慮	49	48	114%
	小計	69	70	96%
その他	環境コミュニケーション及び社会貢献	28	28	121%
	小計			
	合計	346	360	96%